

菊鹿愛

学校教育目標 (菊鹿小中学校)
「ふるさとを愛し、夢の実現に向けて
挑戦し続ける児童生徒の育成」

菊鹿小スローガン
～学び合い 伝え合い 菊鹿愛～
文責 (校長 早田 宗生)

ふるさとと菊鹿のいいところは？ 3年生で研究授業をしました

9月6日(水)に3年生での研究授業をしました。道徳「ふるさといいとこがし」を担当の若杉教諭が指導しました。児童は夏休みに菊鹿町の自慢を考えており、菊鹿のいいところを考え、出し合っていました。例えば、川、あんずの丘、鞠智城跡、棚田、彼岸花、栗などで。選んだ理由を「おじいちゃんが育てているから」と答えている児童がいました。素敵だなと思いませんか。これを読んでいるあなたは、菊鹿のいいところは何だと思えますか。

授業中は、「ないと思っていたけどたくさんあることに気が付いた。」「菊鹿ではふつうなのに、他の町からは人気なんだ。」などと自分の感じたことを積極的に発表していました。

授業の終末では、ゲストティーチャー(外部講師)として、3年生保護者の さんが録画でお話を聞かせてくださいました。話を聞いた後で児童は、「自然以外にも、人の優しさっていうところには気が付かなかった。」「住んでいる人たちの人柄がいいっていうのは、菊鹿町を離れてから分かるのかな。」などと、物や場所だけでなく、菊鹿の人の心も自慢と捉えられていることが伝わっていました。 さんのお話のお陰で児童の考え方が広がったようでした。人と人のつながりやその温かさも菊鹿の自慢ですよ。ありがとうございました。

授業での感想を「ぼくは、これからもっともいい菊鹿町にして幸せな菊鹿町にしていきたいなと思います。」と発表した児童がいます。私は授業後、何か「ほっこり」して、『愛』は伝わるものだな。子どもたちにあふれる『愛』を伝えていかなければならないな。愛しているから鍛えるんだと伝わる教育をしなければならぬ。温かい心であふれる菊鹿が大好きだ。」と改めて感じさせられた授業でした。



水俣に学ぶ肥後っ子教室



5年生が「水俣に学ぶ肥後っ子教室」(県教委補助事業)で現地を訪れました。歴史を知り環境への取組や人々の思いを直接聞いたり、実際に見学したりしてきました。「伝え手」の方は、元チツソ社員の方で、社員としての苦悩や、退職後の地域との「もやい直し」への尽力等を聞くことができました。今後の学習にいかしていきます。

5年生が「水俣に学ぶ肥後っ子教室」(県教委補助事業)で現地を訪れました。歴史を知り環境への取組や人々の思いを直接聞いたり、実際に見学したりしてきました。「伝え手」の方は、元チツソ社員の方で、社員としての苦悩や、退職後の地域との「もやい直し」への尽力等を聞くことができました。今後の学習にいかしていきます。

番所棚田にも学ぶ



6年生がふるさと探検第2弾として、番所地区と矢谷溪谷を訪れました。満開直前の彼岸花と棚田を見学し、彼岸花や棚田を守る地域の思いを伝えました。帰り際には番所の御婦人方のお見送りもありました。ありがとうございました。矢谷溪谷では、水遊びではしゃぐ児童の音が響いていました。

6年生がふるさと探検第2弾として、番所地区と矢谷溪谷を訪れました。満開直前の彼岸花と棚田を見学し、彼岸花や棚田を守る地域の思いを伝えました。帰り際には番所の御婦人方のお見送りもありました。ありがとうございました。矢谷溪谷では、水遊びではしゃぐ児童の音が響いていました。

教師業務の適正化に御理解を

「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策(提言)」が文科省から8月末に示されました。その柱の一つに「学校・教師が担う業務の適正化の一層の推進」があり、以下の(1)～(3)の具体例等が示されました(抜粋)。学校のできることを、(2)について、本校では標準時数を大きく上回る計画(感染症等での臨時休業に備えたもの)でしたので早速見直しを行い、児童の下校が早くなる日もあります。事前に月行事や時間割等でお知らせしますので御確認をお願いします。授業時数が減り標準時数に近づきますが、教

- (1) 「学校・教師が担う業務に係る3分類」を徹底するための取組
 - ・平成31年に示された「基本的には学校以外が担うべき業務」等の適正化
- (2) 各学校における授業時数や学校行事の在り方の見直し
 - ・全ての学校で授業時数について点検し、学校行事についても精選・重点化、簡素化・省力化
- (3) ICTの活用による校務効率化の推進
 - ・学校保護者間の連絡手段のデジタル化などICTの更なる活用、生成AIの校務への活用の推進

職員、児童とともに、「授業で勝負」を徹底していきます。なお、本校職員の勤務時間は、午前8時15分～午後4時45分です。

